

【交流委員会】

委員長 有田 康則

所 信

「委員会メンバーという、それほど多くの責任がない立場で言われた事だけをする、それでやった気になっていた」

15年間の社会人としての経験をもっと活かしたはずだ。

「利害関係に囚われ、相手の気持ちを多く汲み取れなかった」

損は出来ないにしても、その時もう少し腹を割って話が出来たはずだ。

振り返ると入会してから今日まで、自分の行動に仲間を想う心がなかった事を反省します。仲間として何も出来ていなかったのです。

社会人になると、役職や立場によってそれ相応の負担や責任があるのは当然です。辛い事に耐え忍んで人が成長するのもその通りです。でも人を想う気持ちに役職や立場は必要でしょうか。これまで壁にぶつかり、それを乗り越えてきたのは自分一人の力だったでしょうか。きっとそこには多くの温かい心が存在したはずです。外に目を向け過ぎるあまり、近くにある心が見えないようでは、自分の想いが遠くの心に届く事はないと思います。私は自分の立場がどうであれ、まずは隣にいる仲間の心とふれ合います。私達メンバーは、同じ釜の飯を食う仲間。私流に言うと、同じ樽の酒を飲む仲間です。信じ合う心を持って、メンバー同士の心の交流をより深くする事、それが私の考える交流の第一歩です。

そしてJ Cの醍醐味のひとつは、多くの地域の皆様とふれ合うチャンスがある事です。私達の活動に、より一層のご理解とご協力を頂くため、私達の心を知ってもらいましょう。何かを感じたら悩まず即行動。決して背伸びをせず素直な心を表現します。同時に、いつも笑顔を忘れてはなりません。人の笑顔は時に人の心に花を咲かせます。私はそんな素敵な笑顔に出会った事があります。表現しにくいですが、めちゃくちゃ幸せな気分になります。今の私にそんな笑顔が出来るか少々不安ですが、素直な心でいると出来る気がします。その笑顔ひとつで心が動くのです。素敵な笑顔と素直な心はきっと多くの方の心に届きます。簡単そうで難しいかもしれませんが、その場だけの交流ではなく継続される心の交流をするには合理的だと思います。

最後に、私達は本当に多くの交流の場に巡り合う事が出来ます。これは長年に渡る地域の皆様のご理解とご協力、そして先輩諸兄の弛まぬ努力と私達に対するご指導やご協力があった賜物です。私達が交流の場を提供する時、その場に携わる方全員の交流のチャンスをお預かりしている事を忘れてはなりません。私達の想いや行動が、多くの方の出会いや思い出を左右するのです。メンバー皆で協力し、想いの詰まった心で行動しましょう。そして、私達自身のチャンスも無駄にはしてはいけません。たまには同じ樽を囲みましょう。

そのあつという間だった時間が一生消えない思い出になります。

基本方針

- 一、素敵な笑顔と素直な心でふれ合う
- 一、心の交流を発展させる
- 一、想いの詰まった心で行動する

事業計画

1. 1月新年例会
2. 12月納会例会
3. アンコールJ Cとの交流
4. 各地L O Mナイトの設営
5. O B会員との交流
6. 40周年祝賀会（5月）
7. 会員拡大への絶対推進
8. 各委員会との連携及び支援
9. 理事長諮問に関する事項